

1 題材名 たんけんゴ布林島

2 目標

- 中学校教師と英語活動を行うことで、中学校の英語学習への期待感をもたせることができる。
- 英語理解に大切なことは、音に反応し繰り返したり、積極的にコミュニケーションを図ろうとしたりする態度であることに気づくことができる。
- ローマ字やアルファベットに触れ、英語の文字と音の関係について考えることができる。

3 主な言語材料

Good morning. How are you ?
Hello. Who are you ? Where are you going ?
What's your name ? My name's ~. Help me.

4 指導計画（全2時間）

- 第1時 ジョン万次郎の話や、アニメ『たんけんゴ布林島』を視聴するなどして、英語について考える。・・・本時
- 第2時 ローマ字やアルファベットについて考え、文字と音の関係について考える。

5 指導上の立場

(1) 児童の実態

本学級の児童は、チャンツのリズムにのって英語の単語やフレーズを発音したり、ゲームを通して仲間とコミュニケーションを図ったりと楽しんで英語活動に取り組んでいる。

しかし、6年生は中学校の生活や学習も気になり始める学年であり、中学校の英語はどんなことをするのか、どんな先生だろう、難しいのかな、などいろいろと不安を持っている児童も多い。

そこで、中学校の英語教師を小学校に招き学習する場を設けることで、英語に対する新たな興味・関心・意欲や必要感を持たせ、抵抗感や不安感をやわらげることができるのではないかと考えた。

(2) 題材について

英語だけの世界にいきなり飛び込んだジョン万次郎や、『たんけんゴ布林島』の主人公たちに共感することで英語に対する興味・関心・意欲や必要感をもたせられると考える。とくにアニメは児童にとって興味深いもので、学習意欲を喚起するものと信じる。また、ビートルズの歌は、本物の英語を聞き取れた喜びを児童たちに感じさせてくれる、格好の題材だと考える。

(3) 指導のポイント

本時は、普段の英語活動に比べ、児童が英語を話す機会は少なくなると思われる。その分、考える時間を多くとり、納得する気持ちを味わわせたい。相手は小学生だが、それはあまり意識せず、レベルの高い要求をしていくつもりである。

英語がおもしろいと感じることにより、英語をがんばっていこう、中学校の英語学習が楽しみだという気持ちに導くことを最大のポイントにしたい。

6 本時の展開（1時）

目 標	<p>○昔の日本人の英語理解の始まりは音からであったことが分かる。 ○英語はわからなくてもあたりまえ、しかし、わかろうと努力し、積極的にコミュニケーションを図ることが大切であると気づくことができる。</p>		
活動内容	児童の活動	教師の支援と工夫	準備物
1 ウォームアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・教師に反応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「愚問人」^{ぐもん にん}「早鮎」^{はやあゆ}とあいさつすることで、本時のねらいにせまりやすくする。 ○中学校教師の自己紹介を英語でする。 	
2 触れる	<ul style="list-style-type: none"> ・分かったことを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「亀屋」^{かめや}、「愚問人」^{ぐもん にん}、「早鮎」^{はやあゆ}（Come here. Good morning. How are you ?）を考えさせることで、これらは、その音を聞いた日本人が漢字に表したものであることに気づかせる。 ○ Gimme chocolate.は子どもたちの心をつかんだ英語の音であったことを知らせる。また、はじめ日本人は"glass"の発音を聞いて「ガラス」と認識していたが、後にスペルを知り、「グラス」と発音するようになったことから、英語理解の起こりは「音」であることに気づくようにする。「ステッキースティック」「ミシンマシン」「ホッソーハップバーン」も同様に示す。 ○ジョン万次郎はなぜ、アメリカ人に受け入れられたか想像させることで、全く英語がわからなくても、音をまねて反応する積極的態度がコミュニケーションの第一歩であることに気づかせる。 	
3 親しむ	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオを視聴する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○アニメ『たんけんゴブリン島』を視聴することで、わずかな英語で問題を解決する主人公に共感させ、中学校の学習への期待感が持てるようにする。 	DVD
4 慣れる	<ul style="list-style-type: none"> ・ビートルズの"HELP"を聴く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○歌の中に出てくる"help"の回数を数えることで、英語を聞き取れた喜びを感じさせる。 	CD
5 振り返る	<ul style="list-style-type: none"> ・本時を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校教師のメッセージをまとめる。 	